

地域協働のネットワークが生まれつつあります

宣教支援センターでは、各個教会が新たにされることを応援するとともに、近くの教会どうしが助け合いの関係を結ぶことを奨励しています。

2月18日(日)には芦屋教会を会場に、「第1回遠賀川流域教会・交流会」が開かれます。直方教会と芦屋教会が3年間にわたって続けてきた合同祈禱会の新たな展開として、高須教会、飯塚教会を巻き込んで、2017年度から月1回の牧師勉強会を行っています。このたび近隣教会にも参加を呼びかけて、助け合いの輪を広げることになりました。宣教支援センターがチラシ作成等の経費を支援しています。どんなことができるかは未知数ですが、出かけて行って語り合い、共に祈ることは、バプテスト教会の協力伝道の原点であると思います。盛會を期待しています。



編集後記

昨年の連盟定期総会は、連盟結成70周年記念で、宣教支援センターのアピールをする時間が取れませんでした。そこで事務局の築城さんに掲示物を作っていただき、宣教部の掲示板の一角をお借りして、ささやかなアピールを試みました。諸教会・伝道所の皆様方の関心は高く、多くの方がたからお励ましやご質問をいただきました。2018年度は山田先生とステージに立ちたいと思います。(齊藤弘司)



次回予告

巻頭言 田口嗣業 連合青年会長(東八幡)
教会おじゃまします報告 芦屋教会

1月後半・2月の予定

- 1月22日(月)九州四地方連合協議会(小倉) 23日まで
- 25日(木)連合役員会(シオン山)18時半
- 27日(土)信徒研修会(シオン山)10時15分
講師：播磨聡牧師(広島)
- 2月11日(日)信教の自由を守る日集会(シオン山)
15時 講師：野中宏樹牧師(鳥栖)
- 18日(日)遠賀川流域教会・交流会(芦屋)14時
- 22日(木)おじゃまします別府国際教会15時

宣教支援センターHP&Facebook

ニュースレターのバックナンバーを閲覧するにはパスワードが必要です。
HP：<http://bapkitaq.jimdo.com>
パスワード：kitaq2015



連盟全国支援・地域協働プロジェクト バプテスト北九州地方連合 宣教支援センターニュース 25号



発行責任者：山田雄次
発行所：〒805-0015
北九州市八幡東区荒生田2-1-40
Tel&Fax：(093)651-6669
東八幡キリスト教会内
連合宣教支援センター事務局
発行日：2018年1月25日



教会のそばに、そば打ち名人が 防府教会
教会おじゃまします 北九州教会・若松教会
地域協働のネットワークが生まれつつあります

写真：「南小倉教会聖書講座」
(11/11 南小倉教会)



世界バプテスト祈禱週間に寄せて

連合女性会長 福田令子(富野)

多くのバプテスト教会が、11月の最後の日曜日から12月の第一日曜日までを「世界バプテスト祈禱週間」として守り、祈りと献金が捧げられたことと思います。これはアメリカの婦人宣教師ロティ・ムーンによって始められた世界伝道の幻が、全世界へと広がっていったものです。日本でも1931年から女性たちの手によってこの活動が続けられ、現在では女性のみならず、教会全体で行われるようになってきました。ここで捧げられた献金の大半は、日本バプテスト連盟を通して、国外伝道及び国内伝道に用いられます。

この国内伝道予算が、2015年度から私たち北九州地方連合の「宣教支援センター」の活動に用いられていることは皆様ご存じでしょうか(『世の光』2015年10月号、2016年10月号参照)。今まさにこの時、私たちの活動が全国諸教会・伝道所から覚えられ、祈られているのです。

さて、北九州地方連合女性会では、2年毎に役員改選を行っています。今年は富野・小倉・東八幡の各教会が選出され、それぞれに候補者を出し、互選によって新体制が決まりました。

2017年春の女性会総会・信徒大会は、昨年に山本龍一郎牧師を迎えられた小倉教会を会場に、100名を超える参加者が与えられました。夏には隔年で行われている連合小羊会キャンプを、初めて教会以外の会場、山口県下関市郊外の「みさか自然の森」で行いました。また11月にはBWA世界祈禱日集會を若松教会で行い、講師に連盟理事長の田口昭典牧師(金沢)をお迎えすることができました。

2017年度の女性連合総会(10月12日～13日)は、西南学院大学・西南学院教会を会場に開かれ、地元九州からもたくさんの参加がありました。総勢570名という今までにない規模の総会となり、北九州地方連合から参加した私たちも、よい刺激と力を受けて帰ることができました。

最後にこの一年間、連合女性会の主催行事に、宣教支援センターの齊藤主事によるお力添えがあったことに、改めて感謝いたします。

郵便振替 01590-7-3255 加入者名 バプテスト北九州地方連合
通信欄に「宣教支援センター支援献金」と明記してください。

教会のそばに、そば打ち名人が 防府教会

2018年1月10日(水)、防府教会では新年第一回の「にこにこカフェ」を行いました。楽しみに待っていた「そば打ち実演と試食会」です。あいにく寒い雪の日で心配しましたが、17名が参加しました。9時半、いよいよそば打ちのはじまり。実演者は、ご近所の藤田屋辰雄さん。白いそば粉がこね鉢の中でだんだんとあのそば色に変わり、丸い塊が円盤形にのばされていきました。それがいつの間にか四角くなったとき、見学者からは拍手が起こりました。打ったそばを切り(見事に細く!)、すぐに茹でました。「ゆで時間は45秒、大なべには2人分だけ入れる」の指示に「わかりました。やさしく、優しく水にさらすのですね」の応え。タイムキーパーの声、急いで配膳する者の声で、にぎやかな台所となりました。そばを茹でる香りと湯気が立ち込める中、喜びいっぱい茹でたてのそばをいただきながら、それぞれのテーブルで話が弾み、楽しい時間を過ごすことができました。この日、皆さんが感謝の気持ちを表してくださった献金は、そばを打ってくださった藤田屋さんのご意向をくんで、「路上生活者の支援」として送ることにしました。

「にこにこカフェ」は10年前、脳科学を学んだ教会員が中心となり近隣の方々との交流のために「脳活の集い」を始めたのが発端です。その後、高齢者が気軽に参加できるようにと、「にこにこカフェ」と名前を変え毎月第一水曜日に、お茶飲み会を中心に、体操や歌、トーンチャイム練習などを行ってきました。現在は、施設に入所したり、外出が困難になった方々のところへ「出張にこにこ」と称し訪問もしたりしています。このつながりの中で、第一主日に教会で作ったお寿司を携えて訪問するお宅も増え、地域の方々との交流も深まっています。

これらの活動を、防府教会は2016年度に制定したミッション・ステートメント「少しでもおせっかいしますー地域のコーディネーターになる」に基づく中期計画の四つの柱の一つ「お助け隊(仮称)の結成と活動」の中に位置づけました。宣教支援センター「教会元気プラン」による支援を受けて、これまで何気なく行ってきたことを、教会の宣教の課題として明確にすることができたのです。主から与えられたヴィジョン「出会わされた人々と共に生きる」を意識しながら、地域の方々との交わりを喜びつつ深めています。

今回の行事もその交わりの中で実現しました。藤田屋さんがそば打ち道場に通っておられること、しかし最近体調を崩されて落ち込んでおられることを知り、お寿司をもって訪問した時何気なく「そば打ちを教会で見せてください」とお願いしたことがきっかけでした。参加者には、チラシを見て初めて教会においでになった方々もあり感謝でした。お開きの時に藤田屋さんが「人前で打つ機会をいただき、自信と今後の励みになりました」と挨拶をされ、嬉しく思いました。教会が、主によって出会わされている人と共に、元気と希望を与えられたことを喜び、交流が広がる夢をいただきました。

そばを打ち終えて(中央が藤田屋さん)

会堂で実演中の藤田屋さん



第23回

北九州教会を訪問しました

11月12日(日)は北九州教会におじゃましました。主日礼拝後、15時からの開催でしたが、公共交通のアクセスがよいことも手伝って、13教会から52名の方がたが集まってくださいました。

児玉一郎牧師はヘブライ人への手紙12章1節から、北九州教会そしてナオミ愛児園が、信仰の競走を走り抜けてきた数多くの証人に見守られていることについて、穏やかに語っていただきました。



礼拝に引き続き、児玉牧師から10名の教会員の方がたの紹介がありました。

分団の話し合いでは、最近、バプテスマを受けた小学生のことや、女性会バザーのことなどが話題に上っていました。地方連合の主催行事ということで、受け入れを決めてくださった北九州教会の皆様方に心からの感謝を申し上げます。

第24回

若松教会を訪問しました

12月14日(木)は若松教会におじゃましました。神愛幼稚園のお迎え時間と重ならないように、14時半からのスタートになりました。12教会から44名の方がたが集まってくださいました。

鬼塚諫牧師は、アドベントということでマリアの賛歌の箇所を取り上げて、奨励をしてくださいました。マリアにエリザベトの喜びが伝染した。そのことによってマリアの不安が取り除かれたことについて、丁寧に説き明かしてくださいました。講壇の背景にはクリスマスの影絵が飾られていました。



礼拝の後、西田宣昭さんが若松教会のことを紹介してくださいました。受付で配られたくじに従って班ごとに集まり、シュトーレンとお茶をいただきながら、分かち合いの時を持ちました。会堂にエアコンを設置したことで季節を問わず会堂を使えるようになったことや、神愛幼稚園のクリスマスページェントについて教えていただきました。クリスマスの恵みを分かち合うひとときとなりました。